並木中等進路だより

NO. 2　2023. 7. 10
並木中等教育学校
学習進路部

７月の保護者面談では、ぜひご家庭と学校の情報共有を具体的にしていただき、お子さんの進路実現に向けての**「目線合わせ」**をお願い致します。生徒の皆さんは、「大人」の前で今の自分の現状とこれからの改善策ややりたいことをできるだけ具体的に語ってください。６年間の中高一貫校では３、４年次が中だるみと言われがちですが、一生懸命になれる「何か」を持ち、夏休みも生活リズムを崩さずに、並木の宿題を確実にこなしながら、忙しい毎日を送っていれば、受験でも行事でも**「やりきる力」**を発揮できます。

夏休み＝生活･学習習慣を見直し、９月以降につなげる期間

夏休みは、自分で計画を立て、時間管理をする習慣をつけるよい機会です。夏休みには、これまでの生活・学習習慣を振り返り、自宅での学習習慣を見直しておきましょう。特に１年次生にとっては、入学して初めての長期休暇です。夏休みの課題を後回しにしてしまうことのないように、以下の①の２点の確認を夏休み前に行いましょう。

①7月までの振り返りをする

学習面：定期テストや小テスト、今までの宿題の取り組み状況を振り返り、自分の苦手教科・分野を把握します。９月以降の授業で理解できるよう、夏休みを利用して、苦手だと感じるところを復習しておきましょう。

生活面：７月までの学校生活（遅刻はなかったか、宿題をきちんと提出したか、など）を振り返り、よかった点、問題のあった点を洗い出し、９月以降をどう過ごせばよいかを考えておきます。

②夏休みの計画を立てる

夏休みに取り組みたいこと（自由研究、部活動、勉強など）を具体的に考え、目標を立てます。目標を実現するための計画表を作成する際は、１日の生活リズムを崩さないようにします。ﾌｫｰｻｲﾄ手帳を使い、計画と記録を振り返りながら過ごしましょう。１週間に１日の予備日を作っておくとうまくいきます。起床、就寝は土日も含めて授業日と同じ時刻になるようにしましょう。

③進路について考える

「進路」＝大学とは限りません。むしろ広く世の中の仕事や学問について知る機会を作りましょう。前期生であれば身近な「大人」に話を聞くのもよいですし、特に２年生は「ｸｴｽﾄｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」で企業から出されているﾐｯｼｮﾝについて調査するのもよいでしょう。ｼﾞｭﾆｱ新書等を読んで興味のある分野についての知識を深めるのもおすすめです。

④ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽに参加する（主に3～6 年次生）

今年は Web 開催と対面開催の両方を実施する大学が増えています。対面の場合は予約が必要な大学も多いので気をつけましょう。体験や実習は公開講座や大学のｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽを利用するのも一つの方法です。4，５年次生は７月に「夢ナビライブ」もありましたし、４年次生は８月に主要大学説明会もあります。後期生には多くの進路情報誌を配付していますので活用しましょう。

⑤家事をする

勉強だけしていれば成長できるわけではありません。知識と経験があってこそ、並木中等の目指す「能動的な学びができる人間力を備えたｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｰﾀﾞｰ」になれるのです。**長期休業中だからこそ自分ができる家事をして人間力を磨きましょう。**家事は段取り力を高めるのに最高の作業です。日頃の家族のｻﾎﾟｰﾄに対して感謝も感じることでしょう。

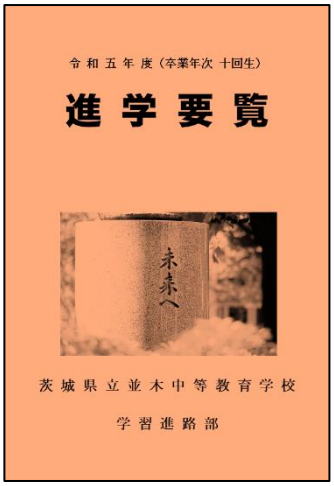
「進学要覧」を配付します（１～6 年次生）

2025 年度入試情報（現５年次生）も載せました！

§１　進路状況一覧
§２　2023 年度大学入試結果の概略
§３　2024 年度大学入試の基礎知識
§４　令和 5 年度大学入試本校の結果総括

・＜10 回生＞後期課程での**校内テスト平均順位と大学受験結果**
・**前期課程での校内テスト平均順位と進学先**（3 回生～10 回生）
・**後期課程での校内テスト平均順位と進学先**（3 回生～10 回生）
・＜累計＞**東京大学**受験者のｾﾝﾀｰ・共通ﾃｽﾄ得点率と受験結果（3 回生～10 回生）
・＜累計＞**筑波大学**受験者の後期定期テストと受験結果（3 回生～10 回生）
・＜累計＞**医学科**受験者のｾﾝﾀｰ・共通ﾃｽﾄ得点率と受験結果（3 回生～10 回生）
・令和 5 年度入試　指定校推薦依頼のあった大学一覧

§５　**合格体験記**



3月に卒業した10回生は、3年前からのコロナ禍の影響を少なからず受け、行事の代替や中止、休校による対面授業の中断などもありましたが、学習内容を本質的に理解する姿勢やＩＣＴ機器の積極的な活用により、歴代の卒業生同様、並木スタンダードである「強気の出願スタイル」で戦えました。

10回生を象徴する「**典**」に表されるように、今すべきことは何か、大事なものは何かという「**よりどころ**」を持って、できることを精一杯行っていた年次でした。進路決定に年次全体で協力して立ち向かう姿や真面目さ、行事等での気遣いは後輩のよい「**手本**」となっていました。

本校は授業第一主義を貫いており、授業での取り組みを大事にしています。その到達度を確認するための校内テストは本校での進学指導において重要なものです。データには数値や結果だけが記されていますが、そこには努力や達成感、悔しさなどのそれぞれの思いがあります。この進学要覧は、在校生の皆さんにとって希望する大学学部に合格するための成績の目安や励みとなることでしょう。データだけでなく、受験体験記としてうまくいったこと、失敗したことを惜しみなく書いてくれています。

どの年次でもいかせる合格体験記の一部を以下に載せました。

☆今やっている勉強で、自分が何を学んでいるのか、何を学ぶべきなのかを常に意識する！

よく量か質か問題が議論されますが、私は毎日、昨日の自分よりもちょっとでも賢くなれてさえいれば何でもいいと思います。一日何時間やろうが、問題集を何周しようが、結局大切なのは、「いかに前よりもできるようになったことが増えたか」です。（ただし、本番は質の良い時間を過ごさなければならないので、一定時間の中での集中力はつけましょう。）私は勉強をするときに、その問題では何を試されているのか、この勉強をすることに何の意味があるのか（どういう力を伸ばしているのか）を常に意識するようにしていました。どうせやるのなら、その勉強の意義を明確に理解し、一回の勉強当たりの吸収率を最大にしたかったからです。

例えば、毎日お風呂に入っているときに、その日に学んだこと（主に間違えたことや抜けていた知識・新知識）をできるだけ挙げるようにしていました。「さっき調べた古文単語なんだったっけ」「今日の求積問題では切る断面失敗したな」「生物の教科書のあのページのホルモンの名前と役割を今全部言えるかな」「今日は 3×3×3=9 っていう信じられないミスしたな」などなど。みなさんも是非やってみてください。10 時間くらい勉強しても、意外と思いつかないものです。これがポンポン挙がるようになれば、毎日着実に成長できているはずです。

合格体験記に載っている多くの卒業生が実践していたこと　ベスト3

1　学校の授業・教材・課外・定期テストを活用した。添削してもらった。復習ノートを作った。
2　スキマ時間を活用していた。朝、休み時間、待ち時間を利用した。小テストは満点をめざした。
3　目標を高く定めた。やりたいことを研究した。安易に妥協しなかった。

学習した成果は3～6か月後に出る！～6年次生の皆さんへ　夏休みの過ごし方のヒント～

現役生の学力の伸びは右のイメージです。すぐに結果が出なくても焦らないでじっくり学習しましょう。ただし、やり方が適正かどうかは具体的に確認しましょう。

量を確保　平日 5h 休日 10h

夏休みに 400h 超え！可視化せよ。

＊進路室前の 500 マスシートどうぞ。

質を向上　ダラダラ学習から脱却。

メリハリ＆トコトン学習の両立

予備日を入れて計画＆記録

生活リズムの維持

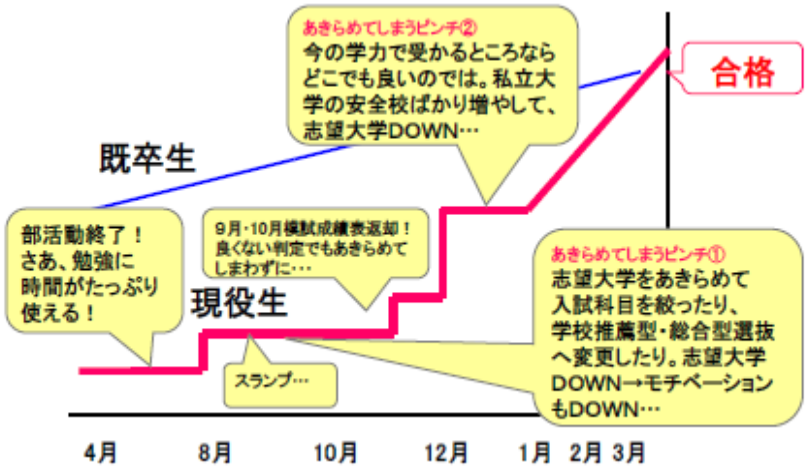
起床・就寝・学習開始時間の固定

ブライトの効果的利用（毎日利用可）

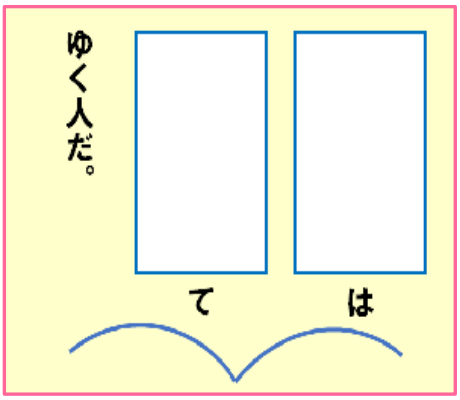
受験は団体戦＆総力戦

自分自身の学習や生活への姿勢が周囲にどう影響を与えられるか

→「環境」として自分に返ってくる



休み明け、模試後にうまくいかずに落ち込まない　またはうまくいっても浮かれない	推薦＆総合型入試受験する時は覚悟！周りが受験していても粛々と勉強。	ラスト３か月の模試がない時期こそ伸びるチャンス！



すべてのことは学びである。
誰もが学ぶ人であり、誰もが変えてゆける。

無限の未来がある、あなたへ。
時代が変わり、人々の生き方が変わり続ける中で、
決して変わらず、力になるのが「学び」です。
未来には、さまざまな難問がある。
だからこそ、目の前の問題が解けるだけでなく、
人生の問いや、社会の課題を自ら見つけ、
挑んでいけるあなたになってほしい。
一人ひとりも、その周囲も、さらには世界さえも、
少しずつ前向きに、変えてゆける。
「学び」にはとても大きな可能性が秘められています。
いつでも、どこでも、誰でも、学ぶことができる世の中へ。
私たちは、学ぶ人をずっと応援し続けます。
「学ぶ人は、変えてゆく人だ。」
（ある出版社の創業90周年記念スローガンより）

「チャンスの 7,8 月が来た！本気の夏の 500 時間」シート　↓

４月 26 日の６年次集会で、11 回生の皆さんに今年１年の自分の姿を「～人は～してゆく人だ」と宣言してもらいました。初心忘るべからず。この夏，そして夏が終わった秋も歩み続けましょう。<u>気持ちが切れそうなときは，自分や仲間の宣言シートを１Ｆ進路室前に見に来て心を整えましょう</u>。後輩の皆さん，保護者の皆様もご覧ください。500 時間シートは年次でノーマル版が配付されますが，<u>進路室前の並木中等オリジナル限定版（ミニ桃鉄版）もよろしければどうぞ</u>。

令和６年度大学入試情報

①入試の環境は引き続き競争の緩和が見込まれる

- 大学志願者数は減少
- 合格者数は増加の見込み　➡　積極的に挑戦できる環境にある！

②入試への対応　大学進学の意識づけがより重要に

- 合格は「最終目標」ではない
  合格できるかではなく、その先を見据えた進路選択をしたい。
- 早めの準備にとりかかる。
  夏に発表される各大学の入試概要で志望校の情報を確認する。大学を知るためにオープンキャンパスへの参加をしておく。4、５年次の「夢ナビ」活用も効果的。

③入試で問われる力が明確に　知識・技能と思考力・判断力・表現力の養成

- 基本的な知識や解法・公式の暗記に終わらせず、本質的な理解を深めておく。自分で説明できるかどうかが重要。
- 共通テストでは様々な情報を迅速に整理、考察する力も求められる。実践的な一番の対策は並木の定期テストや模試の活用。

令和６年度大学入学共通テスト

高校に在学している場合は、学校からまとめて出願します。「**受験案内」冊子は、６年次でまとめて受験生徒人数分を取り寄せています。**９月上旬に６年次生向けの「共通テスト出願説明会」が行われ，そこで「受験案内」等の必要なものが配付されます。願書の書き方などの説明がありますので、注意して聞きましょう。まとめて郵送するので，〆切日等は厳守してください。

共通テスト以外の入試は，原則として受験生本人が取り寄せ，記入，送付等を行います。（推薦入試などは例外もあります）まずは令和６年度入試の「募集要項」を手に入れて熟読しましょう。

センター試験と比べて、出題形式は多少変わったものの、出題内容に変わりはありませんので、秋までは記述力を高める学習をしておきましょう。自分で解答を書ければ迷わずに選べます。焦らずに、選択肢に頼らない、自力で解答できる力をつけていってください。

「行けそう」な大学ではなく「行きたい」大学へ　＝　並木スタンダード

令和７年度入試（現５年次生）以降の動向（詳細は「進学要覧」）

★教科・科目の新設・再編　７教科 21 科目へ。「情報」を新設。国立大はほぼ必須。

★旧教育課程履修者に対する経過措置あり(既卒生対象)

★解答形式はマーク式　共通テストでの記述式問題はなし。

★前期生の皆さんへ　～社会生活をイメージする

現５年生以下の生徒は、新学習指導要領下での大学入試となります。学力に加えて「何をどのように学びたいのか」「将来どうしたいのか」という探究的視点も一層求められていきます。本校では、総合的な学習の時間を中心に「ミニ探究活動」に積極的に取り組んでいます。探究活動で設定した課題が将来の進路へと結びつくことにつながることもあります。

進路は急いで決める必要はありません。例えば、お家の方の中学・高校時代の進路決定のエピソードを聞くのも進路学習です。身近な人の話は実感がわきやすく、真剣に自分の将来を考えるためのよいきっかけになります。また、可能な限り様々な活動に参加することも、自分の得意なことを見つけ、将来の職業と結びつけて考えることにつながります。自分の中での選択肢の幅を十分に広げてください。